

# 第22回菅原・大西記念 癌治療増感シンポジウム in 奈良 治療抵抗性がんの克服をめざして～新たながん治療法～

日時：令和2年2月8日(土) 13:00-19:00 (情報交換会19:00-21:00)

9日(日) 9:00-13:10

場所：奈良県文化会館 2階「小ホール」

〒630-8213 奈良県奈良市登大路町6-2

(交通アクセス 近鉄奈良駅1番出口より東へ徒歩約5分)

## 特別講演

液-液相分離からみたがん増感

森 英一朗 (奈良医大)

ケモカイン誘導体による放射線治療後の免疫増強：併用療法はなぜ必要か

金ヶ崎 史朗 (国立国際医療研究センター)

## ランチョンセミナー

子宮頸癌に対する温熱治療の無作為比較試験

播磨 洋子 (関西医大)

## セッション1. 治療抵抗性を標的とした克服

脳腫瘍における低酸素ニッチの特性とその放射線抵抗性の克服戦略

サンペトラ オルテア (慶応大)

放射線治療における再酸素化とエネルギー代謝

松尾 政之 (岐阜大)

がん特異的代謝を標的とした新規がん放射線療法

稲波 修 (北海道大)

## セッション2. 新たな治療法の提言

近赤外光線免疫療法の機序解明とさらなる応用

佐藤 和秀 (名古屋大)

磁場併用による重粒子線に対する細胞致死効果の増感作用

鈴木 雅雄 (放医研)

リニアックのFFFビームに対する新規増感剤の創製

宇都 義浩 (徳島大)

## セッション3. 免疫力による克服

放射線治療と免疫チェックポイント阻害剤併用による新規治療法の開発

小川 和彦 (大阪大)

タイトル未定

中島 菜花子 (放医研)

温熱は、新規癌免疫療法の効果を増強する

古倉 聡 (京都先端科学大)

大会長：高橋昭久 (群馬大学・重粒子線医学研究センター)

実行委員長：吉田由香里 (群馬大学・重粒子線医学研究センター)

代表世話人：長谷川正俊 (奈良県立医科大学・医・放射線腫瘍)

主催：国際癌治療増感研究協会 (IASCT)

International Association for the Sensitization of Cancer Treatment

共催：ゲノム世代高度医療人の養成

～大阪大学拠点～ 奈良県立医科大学がんプロ

<問い合わせ先> 第22回癌治療増感シンポジウム事務局

TEL, 027-220-8378 FAX, 027-220-8379 E-mail, iasct22@gmail.com

HP, <http://www.iasct2.jp/a4>

